

## 生薬資源問題アンケート

### ●回答者 39名

大いに役立った 18名

役に立った 20名

回答なし 1名

#### 1. 生薬資源問題 24件（重複1件）

大いに役立つ 13、役立つ 11件

\*若い人たちも積極的に安心して農業に取り組めるような生産者を守るシステムを確立しなければならない。

\*バイオ研究をおおいにすすめてほしい。

\*山村を活用して日本国内での生産を進めることにより、輸出資源を増やせばよいと思う。

\*中長期的には国産生薬の栽培の必要性を強く感じるが、短期的には対応できない。

\*漢方薬が日本人にとってなじみがあるので、安全性、効果、国内産の生薬事業の将来を明るくいことを示すことができれば、国内生産は伸びるのではないだろうか。

\*若い国内の生産者を確保することが大切である。

\*生薬の生産には各々に適した環境があるので、国内でどれだけ準備が可能か調査する必要がある。

\*人口栽培としては、3D-HPLC、フォトダイオードアレイ、多糖体分析などによる新技術を用いた栽培の可能性が考えられる。

\*法人経営による生産を期待する。

\*山林は眠っていますが、価値は大きいと思います。

\*国内基盤を整備して生産体制を多角的に検討すべきである。

\*栽培技術については全く検討不足である。

\*国内生産が進まないのは一部の利権者の狭い見解の影響なのか。

\*中国が甘草をワシントン条約規定に加えようとする動きについて、驚きました。

品種改良を行い、国際品種登録を行い、その品質のよいものを国内国外で栽培する。このようにして、国内需要を安定確保する。

\*国内生産について、土地・栽培地が限定され、改良も必要となれば、生産コスト、販売コスト以前の問題がありそうだ。

\*人工気象とダイオードを使った植物工場が生薬が作れるかもしれない。今はホーレン草を作っている。

\*国内生産者の若返り、中間山地の農業の活性化が急務である。

\*国内生産に関するバックアップがどの程度できるかが問題である。

## 2. 薬価問題 6 件（1 件重複）

大いに役立つ 4 件

役立つ 2 件

\*国産生薬の薬価新設が必要である。

\*生薬の価格のみでは、採算が合わない。生薬の通常の利用部分以外（花・葉）などの利用による収益のアップを図っている。現在なんとか 7 種類の生薬栽培を行っている。

\*逆ザヤの製品の薬価については考えていかなければならない。

\*生薬薬価については、西洋薬薬価とは異なる制度が必要だと思った。漢方には、西洋医学では解決できない部分への可能性があるため、安全供給ができるような制度的対策が望まれる。

## 3. 産官学の協調 8 件

大いに役立つ 2 件

役立つ 6 件

\*厚生労働省からの発現において「漢方なんていらぬよ」という発現が最も現実的な意見ではなかったか？

\*産官学が一体となって資源確保に取り組むことが必要です。使用量についても無駄がないように日本漢方の伝承も重要でしょう。

\*国は漢方を文化というより、ものとして評価できるものなのかといった見方しかしていないように感じた。生薬資源の今後を考えると、産業界のみでは実現できない要素があまりにも多い。

\*日本にマッチした生薬で、価格競争に耐えうるものをリストアップして、まず、国・業界・学会が役割を決め、F S を始めるべきである。

\*ワシントン条約問題については、何とか国として今から阻止する対策を練っていただきたい。そのために製薬企業、漢方メーカー、食品メーカー他が一体となっていかなければならない。

\*サプライチェーンをシステムとして作る必要がある。患者、臨床医、医薬品メーカー流通、生産者をどのように結び付けていくかが NPO の役割かもしれない。

## 4. その他 1 件

\*マイクの使用方法が不適切で、発表内容が聞き取れなかった。

\*スライド内容が多く、資料をプリントすべきである。

\*生薬が食品と同様に重要であることを訴えることが大切

\*生薬の国内生産を向上させる

- \*東洋医学の浸透度の低さ
- \*資源確保の困難さ
- \*国内生産の低さへの驚き
- \*厚生労働省の漢方不要論発現への嘆き